



2011年3月11日 東日本大震災、障害のある人と支援者の物語。

# 星に語りて

Starry Sky

きょうされん40周年記念映画

松本 勲 監督作品

出演/要田禎子 螢雪次郎 今谷フトシ 植木紀世彦 枝光利雄 菅井 玲 入江崇史 宮川浩明 生島ヒロシ 赤塚真人  
製作統括/西村 直 企画/藤井克徳 脚本/山本おさむ 音楽/小林洋平 プロデューサー/新井英夫  
撮影/鈴木雅也 照明/古橋孝映 録音/西岡正巳 美術/津留啓亮 編集/古賀陽一 スクリプター/山下千鶴  
衣裳/杉本京加 ヘアメイク/清水美穂 ラインプロデューサー/赤間俊秀 助監督/佐藤 史 制作担当/富田政男  
制作プロダクション/ターゲット 製作/きょうされん (2019年/115分)

2011年3月11日

# 障害者の状況と 支援者の活動を描く 劇映画

舞台の一つは、岩手県陸前高田市。高台にある共同作業所「あおぎり」では、津波の直接的な被害は免れたものの、仲間の一人を失って落胆する利用者たちを女性の所長が励ましなが、一日も早く障害のある人が日常を取り戻せるように一步を踏み出そうとしていた。また、全国障害者ネットワークでは、東京、秋田、岩手、福岡など全国のグループが連携して支援活動を始めようとしていた。そんな矢先、「障害者が消えた」という情報が入ってきた。多くの避難所をまわっても、障害のある人の姿がほとんど見当たらないというのだ。

一方、福島第一原子力発電所事故によって避難を余儀なくされた地域の一つ、南相馬市では、避難できずに取り残されている障害のある人の存在を知った共同作業所「クロスロードハウス」の代表らが、自らの手で調査に踏み切ろうとしていた。被災地各地に支援センターが設置され、次々と支援物資が送られ、全国各地から支援員が集まってきた。しかし、各地の障害のある人の安否確認を進める中で、彼らに立ちはだかる障壁があった。それは、個人情報保護法によって開示されない、障害のある人の情報だった。法律によって守られる人権と、一刻を争う人命救助との狭間で苦しむ支援者たち。全国障害者ネットワークでは、この障壁を打ち破る手立てを模索していった。



日時： 2019年9月15日（日） 一回目 14時00分 上映開始  
16時00分 アフタートーク  
二回目 17時00分 上映開始  
19時00分 アフタートーク  
会場： 金沢東別院 真宗会館 1階ホール 金沢市安江町 15-52（横安江町）

入場無料 別院内に無料駐車場あります

問い合わせ： 常照寺 佐藤 076-275-2351 ・ 徳法寺 杉谷 076-241-5219

主催 真宗大谷派金沢教区 心の相談室  
後援 真宗大谷派金沢災害支援ネットワーク